

平成25年度第5回幕別町次世代育成支援対策地域協議会会議録

- 1 日時  
平成26年3月26日（水）18:30～19:42
- 2 場所  
保健福祉センター多目的ホール
- 3 出席委員  
9人：千葉会長、荒木委員、岩花委員、杉山委員、下川委員、西出委員、堀委員、  
嶽山委員、安田委員
- 4 欠席委員  
6人：牛尾副会長、齊藤委員、佐藤委員、牧田委員、松田委員、森委員
- 5 事務局  
6人：川瀬民生部長、山岸こども課長、稲田保健福祉課長、武田児童福祉係長、  
半田保育係長、宗像主査、
- 6 内容
  - (1) 開会（進行：千葉会長）
  - (2) 協議

- 【子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」について/説明：事務局】
- ・ 資料1により量の見込みについての考え方、量の見込みの算出方法及び算出項目、子ども・子育て支援事業計画の作成イメージについて説明。
  - ・ 内閣府が作成した「市町村子ども・子育て支援事業計画における量の見込みの算出等の手引き」を参考に算出した以下の11項目の量の見込みについて、資料2のとおり説明。

事業（項目）		対象児童年齢
1	1号認定（ア） 教育標準時間認定（認定こども園および幼稚園） ＜専業主婦（夫）家庭、就労時間短家庭＞	3～5歳
2	2号認定（イ） 保育認定①（幼稚園） ＜共働きであるが幼稚園利用のみの家庭＞	3～5歳
	2号認定（イ） 保育認定②（認定こども園及び保育所）	3～5歳
3	3号認定（ウ）・（エ） 保育認定③ （認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0歳、 1・2歳
4	時間外保育事業	0～5歳
5	放課後児童健全育成事業	1～3年生、 4～6年生
6	子育て短期支援事業 （ショートステイ・トワイライト）	0～18歳
7	地域子育て支援拠点事業	0～2歳
8	一時預かり事業 ・幼稚園における在園児を対象とした一時預かり ・その他	3～5歳
		0～5歳
9	病児保育事業	0～5歳、 1～6年生
10	子育て援助活動支援事業 （ファミリー・サポート・センター事業）	0～5歳、 1～3年生、 4～6年生
11	利用者支援事業	0～5歳、 1～6年生

- ・ 前回の会議で質問のあった今後のスケジュールについて、【資料】本格施行までの作業スケジュールイメージ(平成27年度施行を想定)により説明。
- ・ 【資料2】で説明した「量の見込み」と実績とを比較できるよう、【資料】認可保育所入所状況等により各施設の入所実績等を説明。

○意見・質問等

Q… 【資料】認可保育所入所状況等にある各学童保育所の所在地は。

A(以下事務局)… ≪各学童保育所と通所児童の所属小学校との関係から各学童保育所の所在地を説明。≫

Q… ハンディのあるお子さんのいる家庭の意向は、量の見込みに反映されているか。

A… アンケート調査は、就学前児童の全てを対象に実施したので、ハンディのあるお子さんのいる家庭の意向も含めた量の見込みとなっていると考える。

Q… 資料2にある量の見込みのうち1号認定者の見込みは、1年目が150人で、以降2年目が144人、3年目140人、4年目137人、5年目132人と減少していくのに対し、【資料】認可保育所入所状況等にある幼稚園入所状況では、近年、児童数が横ばいまたは増加している。量の見込みはどのように算出されたか。また、既に分析等はされたか。

A… 1号認定の量の見込みは、国の手引きに従い、タイプC'、D、E'、Fといった就業時間が比較的短いか、保護者の一方が少なくとも無業である家庭が、アンケート調査の「平日定期的に利用したい教育・保育事業」で「幼稚園」と回答した割合を基礎に算出している。数字の詳細な分析はこれから進めていく。

Q… 今回示された数字は幕別町全体の数字だが、地域ごとの割合は違ってくると考えられる。今後、地域ごとの数字については分析されるか。

A… ご指摘のとおり地域ごとにニーズ量は違うと考えている。次回以降の会議において、地域別の数字をお示ししたい。

Q… 【資料】認可保育所入所状況等の年齢別の各項目にあるMAXとは、1年の中で受け入れた最大数のことか。

A… MAXの数字は、施設の面積、人員配置等の要件を勘案し算出した各年齢別の定員であるが、例えば、その年齢の児童にハンディのある児童がいるとか、0歳児の児童数が多いといったことにより、年ごとに変動する数字である。

Q… へき地保育所の年齢別のMAXが空欄になっているが。

A… へき地保育所は、毎年、入所児童数が定員を大きく下回っており、年齢別の定員の算出を要しない。また、満2歳から就学前の児童の混合保育を実施していることから、定員に変動はない。

(3) その他

事務局から、次回の会議は4月下旬を目途に開催したい旨、及び次回以降の協議では、地域別の量の見込みを示し、確保の方策・各種基準等といった具体的な検討を行っていきたいと説明。